



薄照風速4m/s 21℃ 他ハーター2組
12名が一緒になる。汗はんだ体には
丁度より暑さで、展望がきの有難い。

展望の良い尾根道は、
ガラ場の頭より、温泉
沢の頭まで、12ヶ所の矢
印・丸印があるので、安
心して登れる。

雲遊が雲の平の雲白し
流れる雲は槍に飛び行く

温泉沢右岸の登り
硫黄の臭立ち、温泉沢から人々
見えぬ温泉沢の頭への登りは、
早朝でもあり、馬力が出る。少し
休まずとも、セリ上ってくる周囲の山
々の美しき姿を見やりながらの登
はん。汗を拭きながら、とにかく
稜線沿ガンバナクチャーと心に
言い聞かせてグングン高度を稼
ぐ。ハイマツ尾根から大ガレのジグ
ザグ道は一番きつい所だ。
ガラ場の頭からは稜線尾根
も見え張りが出てくる。
最後までハイマツと砂岩の急
登だが、朝はなんと言っても
気持が良いものだ。

朝露を踏んで
北アルプス最奥地の温泉宿、北アルプスの樂園
から幻想的な夜明け静けさを破って
第一歩を踏み出す。出発5:47 殆んど人は
三俣山荘から立石までで薬師沢方面へ行く。
温泉沢をさかのぼるパーティーは我々の他に、2人
パーティー組だけ。それも我々のあと30分遅れた。
温泉沢は崩壊がひどく、ガレがタリなので、
落石に注意して登る必要がある。

高天原温泉
高天原温泉は山荘から下りて13分、帰りが登りになるので16分ほどかかる。
山奥の情緒豊かな川辺の露天風呂、直径2メートルぐらいで4人で満員。
河原の石を積み上げて造っており、ゴムホースで上流(5分ほど)の湯元から
引き込んでいる。少し乳白色で水色がかつた硫黄の臭い、フンする
お湯である。サウナ風呂は御心配なく反対側の右岸の上にあり、
建家の中である。
山荘へ着いた我々は宿泊を頼んで早速温泉へ出掛け。仲々
いい感じ……山荘の前のテーブルでよく冷えた缶ビールを飲み、酒肴
で一杯やり、終わった頃食事の声……山荘の真ん中もった手作り料理
は、生涯忘れ得ぬ思い出となろう。

薬師沢小屋～黒部川へ下り口
薬師沢小屋の直ぐ前の吊橋から棧道に
移り、雲ノ平への道を探しながら本流に沿
って少し下ると道標があり、戻るようにして
22段の梯子を登る。続いて階段状の木
の根っ子から石詰め道の急登する。
約1時間余 樹林の間で風も通らず、
にじみ出る汗を小さく、一気に450mを
登り切って休憩。雲ノ平も大変な汗の結
晶のあとのごほうびと言ったところか?